令和5年度取組状況

ものづくり	
	取組状況
教育	 卒業研究/特別研究の応用展開本科及び専攻科生の活動を他大学(千葉大,都立大、長岡技大)と共有した。また、本校学生の成果を国際会議で2件、国内学会発表で2件、公表することができた。 品川CPから移動してきた2年生向けに、「データサイエンス概論」の集中講義を準備するとともに、全てオンデマンドで受講できるコンテンツの開発を行った。受講学生は2名であり、無事、修得することができた。今後は都立大法人内の関係各所と連携事業が取れるようなコンテンツ増強を行っていく。
研究	1. 論文 特になし 2. 国際会議発表 [1]Tomoo Kikuchi, Eri-Sato Shimogawara, Shoji Yamamoto, Comparison of pressure sensor-based and EMG systems for finger movementanalysis,International Symposium on Community-centric Systems and Robots (CcSR2024), SS4(20), Hachijyo, Japan, (March, 2024).[No Refereeing] [2]Madoka Hagiri, Shoji Yamamoto, Aoi Ohta, Yasufumi Takama, Assessing personality factors for recommendation systems of learning method, The 2023 Conference on Technologies and Applications of Artificial Intelligence(TAAI 2023), (now printing), Yunlin, Taiwan(Dec., 2023).[Fullpaper Refereeing] 3. 国内学会発表 [1]菊地友央, 羽切まどか, 山本昇志, Force Myography変化の深層学習分類モデルによる指動作の特定, インテリジェント・システム・シンポジウム, Fr-A2-2, (2023.9.8, 九州・福岡市). [2]羽切まどか, 菊地友央, 山本昇志, 学習推薦システムにおける性格潜在因子の適合評価, インテリジェント・システム・シンポジウム, Fr-C1-1, (2023.9.8, 九州・福岡市). 4. 競争資金獲得 大学・高専連携事業基金事業(東京都公立大学法人) 「個性モデルを適用した因子解析による個別リコメンド手法の開発」
社会貢献	[1]電子情報通信学会 魅力工学研究会 専門委員 [2]査読委員(Artificial Life and Robotics) [3]Optics & Photonic JAPAN学会の推進委員